



平成27年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社マツモトキヨシホールディングス  
コード番号 3088 東証第1部  
代 表 者 名 代表取締役社長 松本 清雄  
問 合 せ 先 執行役員財務経理部長 石橋 昭男  
TEL 047-344-5110

（訂正）「平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について

当社は、平成25年2月14日に開示いたしました「平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日（平成27年11月11日）付「平成28年3月期第1四半期決算短信及び過年度に係る決算短信等（訂正版）の公表について」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マツモトキヨシホールディングス  
コード番号 3088 URL <http://www.matsumotokiyoshi-hd.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 松本 南海雄  
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 尾和 富士雄 TEL 047-344-5110  
四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	345,350	5.8	14,476	8.9	16,069	10.5	8,676	24.0
24年3月期第3四半期	326,511	1.3	13,288	24.3	14,538	20.0	6,998	80.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 9,026百万円 (21.8%) 24年3月期第3四半期 7,408百万円 (91.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	186.82	158.91
24年3月期第3四半期	149.28	127.28

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	<u>227,517</u>	<u>121,541</u>	52.9	<u>2,589.37</u>
24年3月期	<u>214,000</u>	<u>115,317</u>	53.1	<u>2,447.19</u>

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 120,259百万円 24年3月期 113,657百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
25年3月期	—	20.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

平成25年3月期 期末配当予想30円00銭には、記念配当10円00銭が含まれております。詳細は、本日付で別途公表いたしました「記念配当(マツモトキヨシ創業80周年記念)に関するお知らせ」をご参照下さい。

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	450,000	3.5	18,700	3.3	20,500	4.4	10,500	9.9	226.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無  
新規 ー 社(社名) 、除外 ー 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料の4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	53,579,014株	24年3月期	53,579,014株
25年3月期3Q	7,135,579株	24年3月期	7,135,183株
25年3月期3Q	46,443,642株	24年3月期3Q	46,878,977株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	9
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 重要な後発事象 .....	11
4. 補足情報 .....	12
売上及び仕入の状況 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）における日本経済の状況は、東日本大震災後の復旧・復興に向けた需要拡大を背景に、経済活動や個人消費は一部で持ち直しの兆しが見られたものの、海外の景気減速懸念、長引く円高や株価の低迷など、景気下振れ懸念が引き続き存在し、先行き不透明な状況で推移しました。

ドラッグストア業界におきましても、花粉飛散量の減少、昨年発生した震災需要の反動減、競合企業の積極的な出店、同質化する異業種との競争などにより、経営環境は大変厳しい状況で推移しました。

このような環境のなか、当社グループは、厳しい環境下でも安定して利益を創出できる収益基盤を確立すべく、これまでに示しております2つの重点施策（①事業構造の変革、②意識・行動の変革）に、新たにマーケティングプロセスの変革を加えた3つの重点施策に取り組むことで、お客様との絆をさらに深めることに注力してまいりました。

また、小商圏化する市場への対応として、各地域における競争優位性を確保すべくエリアドミナント化を推進するとともに、事業規模の拡大と企業価値向上を目的とした直営店舗の新規出店及び改装、フランチャイズ事業、M&Aなどにも取り組んでまいりました。

新規出店に関しては、関東地域を中心に、グループとして62店舗（フランチャイズ1店舗を含む）を出店し、多様化するお客様ニーズへの対応及び既存店舗の活性化を重点に86店舗の改装を実施、スクラップ&ビルドを含め将来業績に貢献の見込めない48店舗を閉鎖しました。

フランチャイズ事業に関しては、当社の子会社である株式会社マツモトキヨシが和歌山県を中心に南近畿ではトップストアとして展開する株式会社オークワとフランチャイズ契約を締結（平成24年9月6日付け）しました。

更に、グループ競争力の強化、シェア拡大に向けたエリアドミナント戦略の一環として、東北地域でドラッグストア・調剤薬局を展開する「株式会社ダルマ薬局」（平成24年5月14日付け）と、兵庫県南部地域でドラッグストアを展開する「モリスリテール株式会社」（平成24年10月1日付け）を子会社化し、中四国エリアにおける強固な経営体制と意思決定の迅速化を図ることを目的に「株式会社マツモトキヨシ中四国販売」を設立（平成24年10月1日付け）するとともに、様々な医療分野への進出・調剤事業の拡大を目的に、調剤専門会社「株式会社マツモトキヨシファーマシーズ」を設立（平成24年4月2日付け）しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間末におけるグループ店舗数は、1,341店舗となり、前連結会計年度末と比較して84店舗増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高3,453億50百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益144億76百万円（同8.9%増）、経常利益160億69百万円（同10.5%増）、四半期純利益86億76百万円（同24.0%増）と、売上高及び各利益とも同期間における過去最高となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <小売事業>

小売事業は、連結子会社の増加、新規出店、改装による品揃えの拡大などにより売上高は堅調に推移しました。収益面では、花粉飛散量の減少、昨年発生した震災需要からの反動減などがあったものの、地域ニーズに合わせたきめ細かな品揃えの拡充や営業時間の延長などによる利便性の追求、新たに発売されたヘアケア商品などが好調なMKカスタマー（PB商品）の展開強化、予防意識の高まりによるウィルス対策商品の伸長、継続されている効率的かつ効果的な販促策及び新たな施策の推進などにより収益は大きく伸長しました。

また、取組みを強化しております調剤事業は、診療報酬改定に伴う薬価引き下げの影響があったものの、地域医療連携を深めたことによる処方箋応需枚数の増加、マツモトキヨシファーマシーズ1号店の開設（平成24年10月1日）などにより引き続き順調に推移しております。

#### <卸売事業>

卸売事業は、株式会社オークワとフランチャイズ契約を締結しましたが、既存契約企業でありました弘陽薬品株式会社及び株式会社イタヤマ・メディコの2社を子会社化（平成24年2月10日付け）したことに伴い、両社売上が小売事業に寄与したため、卸売事業売上は減少しました。

このような営業活動に基づき、小売事業の売上高は3,292億49百万円（前年同期比6.9%増）、卸売事業140億50百万円（同13.6%減）、管理サポート事業20億50百万円（同12.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は2,275億17百万円となり、前連結会計年度末に比べて135億16百万円増加いたしました。主な要因は、商品が35億83百万円、受取手形及び売掛金が18億38百万円、流動資産のその他が25億31百万円、土地が14億93百万円、有形固定資産のその他が15億98百万円、無形固定資産のその他が13億25百万円、それぞれ増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,059億75百万円となり、前連結会計年度末に比べて72億92百万円増加いたしました。主な要因は、転換社債型新株予約権付社債が150億円、未払法人税等が17億23百万円、賞与引当金が12億62百万円、それぞれ減少したものの、1年内償還予定の新株予約権付社債が150億円、支払手形及び買掛金が80億28百万円、流動負債のその他が14億61百万円、それぞれ増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,215億41百万円となり、前連結会計年度末に比べて62億24百万円増加いたしました。主な要因は、配当金による23億22百万円の減少があったものの、四半期純利益86億76百万円を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表した連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,656	10,161
受取手形及び売掛金	11,009	12,847
商品	<u>57,732</u>	<u>61,315</u>
貯蔵品	510	547
その他	13,367	15,898
貸倒引当金	△199	△201
流動資産合計	<u>92,076</u>	<u>100,569</u>
固定資産		
有形固定資産		
土地	40,998	42,491
その他	21,692	23,291
有形固定資産合計	<u>62,691</u>	<u>65,783</u>
無形固定資産		
のれん	6,580	7,075
その他	2,880	4,206
無形固定資産合計	<u>9,461</u>	<u>11,281</u>
投資その他の資産		
敷金及び保証金	35,335	35,550
その他	14,918	14,906
貸倒引当金	△482	△574
投資その他の資産合計	<u>49,771</u>	<u>49,882</u>
固定資産合計	<u>121,924</u>	<u>126,947</u>
資産合計	<u>214,000</u>	<u>227,517</u>



（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,062	62,090
短期借入金	500	300
1年内償還予定の新株予約権付社債	—	15,000
1年内返済予定の長期借入金	372	244
未払法人税等	3,821	2,097
賞与引当金	2,747	1,484
ポイント引当金	1,559	2,479
資産除去債務	24	15
その他	9,072	10,533
流動負債合計	72,159	94,246
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	15,000	—
長期借入金	380	134
退職給付引当金	929	1,101
資産除去債務	3,454	3,729
その他	6,759	6,764
固定負債合計	26,523	11,729
負債合計	98,683	105,975
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,086	21,086
資本剰余金	21,866	21,866
利益剰余金	87,929	94,284
自己株式	△16,757	△16,758
株主資本合計	114,124	120,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△467	△219
その他の包括利益累計額合計	△467	△219
新株予約権	14	23
少数株主持分	1,645	1,259
純資産合計	115,317	121,541
負債純資産合計	214,000	227,517

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	326,511	345,350
売上原価	235,166	248,307
売上総利益	91,344	97,043
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	562	911
給料及び手当	29,035	31,110
賞与引当金繰入額	1,436	1,506
退職給付費用	582	609
地代家賃	17,244	18,448
その他	29,193	29,980
販売費及び一般管理費合計	78,055	82,566
営業利益	13,288	14,476
営業外収益		
受取利息	154	139
受取配当金	230	245
固定資産受贈益	268	447
発注処理手数料	373	389
その他	334	508
営業外収益合計	1,361	1,731
営業外費用		
支払利息	59	53
貸倒引当金繰入額	—	49
持分法による投資損失	17	10
その他	34	24
営業外費用合計	111	138
経常利益	14,538	16,069

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）
特別利益		
固定資産売却益	22	20
その他	0	—
特別利益合計	22	20
特別損失		
固定資産売却損	1	53
固定資産除却損	147	199
店舗閉鎖損失	182	246
減損損失	749	680
投資有価証券評価損	137	262
その他	16	11
特別損失合計	1,236	1,454
税金等調整前四半期純利益	13,324	14,636
法人税、住民税及び事業税	5,369	5,349
法人税等調整額	807	509
法人税等合計	6,177	5,858
少数株主損益調整前四半期純利益	7,147	8,777
少数株主利益	149	101
四半期純利益	6,998	8,676

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,147	8,777
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	260	248
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	260	248
四半期包括利益	7,408	9,026
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,243	8,925
少数株主に係る四半期包括利益	165	101

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

① 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

イ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	196,000	111,913	418	15,848	2,330	326,511	—	326,511
セグメント間の 内部売上高又は振替高	23	0	217,398	39,199	8,061	264,682	△264,682	—
計	196,024	111,913	217,816	55,047	10,391	591,194	△264,682	326,511
セグメント利益	9,548	2,936	569	109	479	13,643	△354	13,288

(注) 1. セグメント利益の調整額△354百万円には、のれんの償却額△572百万円及びセグメント間取引消去217百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

ロ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額749百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で584百万円、「その他小売事業」で190百万円となり、連結決算における消去・調整で△26百万円となっております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

② 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

イ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	194,189	135,059	176	13,873	2,050	345,350	—	345,350
セグメント間の 内部売上高又は振替高	36	96	227,514	41,871	7,694	277,214	△277,214	—
計	194,226	135,156	227,691	55,745	9,745	622,565	△277,214	345,350
セグメント利益	9,643	3,797	852	387	202	14,882	△405	14,476

(注) 1. セグメント利益の調整額△405百万円には、のれんの償却額△711百万円及びセグメント間取引消去305百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

ロ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額680百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で330百万円、「その他小売事業」で364百万円、「管理サポート事業」で1百万円となり、連結決算における消去・調整で△16百万円となっております。

(のれんの金額の重要な変動)

株式取得により株式会社ダルマ薬局及びモリスリテール株式会社を連結したことや株式会社ばばすの株式を追加取得したこと等に伴い、新たにのれんが1,209百万円増加しております。

報告セグメントごとの増加額は、「調整額」で1,209百万円となっております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

売上及び仕入の状況

① 事業部門別売上状況

当第3四半期連結累計期間の売上実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
小売事業	329,249	106.9
卸売事業	14,050	86.4
管理サポート事業	2,050	88.0
合計	345,350	105.8

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

② 商品別売上状況

当第3四半期連結累計期間の売上実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
小売事業		
医薬品	99,528	106.5
化粧品	124,610	109.1
雑貨	66,422	102.0
食品	38,448	109.9
小計	329,010	106.9
卸売事業	13,721	86.1
合計	342,732	105.9

- (注) 1. 商品別売上状況は管理サポート事業を除いております。また、上記の金額には営業収入（テナントからの受取家賃及びフランチャイジーからのロイヤルティ収入等）は含まれておりません。  
2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

③ 商品別仕入状況

当第3四半期連結累計期間の仕入実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	
	金額（百万円）	前年同四半期比（%）
小売事業		
医薬品	63,596	107.8
化粧品	88,674	107.6
雑貨	49,974	99.7
食品	33,889	108.0
小計	236,135	105.9
卸売事業	13,740	92.6
合計	249,876	105.1

- (注) 1. 商品別仕入状況は管理サポート事業を除いております。  
 2. 仕入に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。



(訂正前)



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マツモトキヨシホールディングス  
コード番号 3088 URL <http://www.matsumotokiyoshi-hd.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 松本 南海雄  
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 尾和 富士雄 TEL 047-344-5110  
四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	345,350	5.8	14,476	8.9	16,069	10.5	8,676	24.0
24年3月期第3四半期	326,511	1.3	13,288	24.3	14,538	20.0	6,998	80.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 9,026百万円 (21.8%) 24年3月期第3四半期 7,408百万円 (91.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	186.82	158.91
24年3月期第3四半期	149.28	127.28

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	<u>227,921</u>	<u>121,946</u>	52.9	<u>2,598.08</u>
24年3月期	<u>214,404</u>	<u>115,721</u>	53.2	<u>2,455.90</u>

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 120,663百万円 24年3月期 114,061百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
25年3月期	—	20.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

平成25年3月期 期末配当予想30円00銭には、記念配当10円00銭が含まれております。詳細は、本日付で別途公表いたしました「記念配当(マツモトキヨシ創業80周年記念)に関するお知らせ」をご参照下さい。

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	450,000	3.5	18,700	3.3	20,500	4.4	10,500	5.5	226.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無  
新規 ー 社(社名) 、除外 ー 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料の4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	53,579,014株	24年3月期	53,579,014株
25年3月期3Q	7,135,579株	24年3月期	7,135,183株
25年3月期3Q	46,443,642株	24年3月期3Q	46,878,977株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	9
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 重要な後発事象 .....	11
4. 補足情報 .....	12
売上及び仕入の状況 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）における日本経済の状況は、東日本大震災後の復旧・復興に向けた需要拡大を背景に、経済活動や個人消費は一部で持ち直しの兆しが見られたものの、海外の景気減速懸念、長引く円高や株価の低迷など、景気下振れ懸念が引き続き存在し、先行き不透明な状況で推移しました。

ドラッグストア業界におきましても、花粉飛散量の減少、昨年発生した震災需要の反動減、競合企業の積極的な出店、同質化する異業種との競争などにより、経営環境は大変厳しい状況で推移しました。

このような環境のなか、当社グループは、厳しい環境下でも安定して利益を創出できる収益基盤を確立すべく、これまでに示しております2つの重点施策（①事業構造の変革、②意識・行動の変革）に、新たにマーケティングプロセスの変革を加えた3つの重点施策に取り組むことで、お客様との絆をさらに深めることに注力してまいりました。

また、小商圏化する市場への対応として、各地域における競争優位性を確保すべくエリアドミナント化を推進するとともに、事業規模の拡大と企業価値向上を目的とした直営店舗の新規出店及び改装、フランチャイズ事業、M&Aなどにも取り組んでまいりました。

新規出店に関しては、関東地域を中心に、グループとして62店舗（フランチャイズ1店舗を含む）を出店し、多様化するお客様ニーズへの対応及び既存店舗の活性化を重点に86店舗の改装を実施、スクラップ&ビルドを含め将来業績に貢献の見込めない48店舗を閉鎖しました。

フランチャイズ事業に関しては、当社の子会社である株式会社マツモトキヨシが和歌山県を中心に南近畿ではトップストアとして展開する株式会社オークワとフランチャイズ契約を締結（平成24年9月6日付け）しました。

更に、グループ競争力の強化、シェア拡大に向けたエリアドミナント戦略の一環として、東北地域でドラッグストア・調剤薬局を展開する「株式会社ダルマ薬局」（平成24年5月14日付け）と、兵庫県南部地域でドラッグストアを展開する「モリスリテール株式会社」（平成24年10月1日付け）を子会社化し、中四国エリアにおける強固な経営体制と意思決定の迅速化を図ることを目的に「株式会社マツモトキヨシ中四国販売」を設立（平成24年10月1日付け）するとともに、様々な医療分野への進出・調剤事業の拡大を目的に、調剤専門会社「株式会社マツモトキヨシファーマシーズ」を設立（平成24年4月2日付け）しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間末におけるグループ店舗数は、1,341店舗となり、前連結会計年度末と比較して84店舗増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高3,453億50百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益144億76百万円（同8.9%増）、経常利益160億69百万円（同10.5%増）、四半期純利益86億76百万円（同24.0%増）と、売上高及び各利益とも同期間における過去最高となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <小売事業>

小売事業は、連結子会社の増加、新規出店、改装による品揃えの拡大などにより売上高は堅調に推移しました。収益面では、花粉飛散量の減少、昨年発生した震災需要からの反動減などがあったものの、地域ニーズに合わせたきめ細かな品揃えの拡充や営業時間の延長などによる利便性の追求、新たに発売されたヘアケア商品などが好調なMKカスタマー（PB商品）の展開強化、予防意識の高まりによるウィルス対策商品の伸長、継続されている効率的かつ効果的な販促策及び新たな施策の推進などにより収益は大きく伸長しました。

また、取組みを強化しております調剤事業は、診療報酬改定に伴う薬価引き下げの影響があったものの、地域医療連携を深めたことによる処方箋応需枚数の増加、マツモトキヨシファーマシーズ1号店の開設（平成24年10月1日）などにより引き続き順調に推移しております。

#### <卸売事業>

卸売事業は、株式会社オークワとフランチャイズ契約を締結しましたが、既存契約企業でありました弘陽薬品株式会社及び株式会社イタヤマ・メディコの2社を子会社化（平成24年2月10日付け）したことに伴い、両社売上が小売事業に寄与したため、卸売事業売上は減少しました。

このような営業活動に基づき、小売事業の売上高は3,292億49百万円（前年同期比6.9%増）、卸売事業140億50百万円（同13.6%減）、管理サポート事業20億50百万円（同12.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は2,279億21百万円となり、前連結会計年度末に比べて135億16百万円増加いたしました。主な要因は、商品が35億83百万円、受取手形及び売掛金が18億38百万円、流動資産のその他が25億31百万円、土地が14億93百万円、有形固定資産のその他が15億98百万円、無形固定資産のその他が13億25百万円、それぞれ増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,059億75百万円となり、前連結会計年度末に比べて72億92百万円増加いたしました。主な要因は、転換社債型新株予約権付社債が150億円、未払法人税等が17億23百万円、賞与引当金が12億62百万円、それぞれ減少したものの、1年内償還予定の新株予約権付社債が150億円、支払手形及び買掛金が80億28百万円、流動負債のその他が14億61百万円、それぞれ増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,219億46百万円となり、前連結会計年度末に比べて62億24百万円増加いたしました。主な要因は、配当金による23億22百万円の減少があったものの、四半期純利益86億76百万円を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,656	10,161
受取手形及び売掛金	11,009	12,847
商品	<u>58,136</u>	<u>61,719</u>
貯蔵品	510	547
その他	13,367	15,898
貸倒引当金	△199	△201
流動資産合計	<u>92,480</u>	<u>100,973</u>
固定資産		
有形固定資産		
土地	40,998	42,491
その他	21,692	23,291
有形固定資産合計	<u>62,691</u>	<u>65,783</u>
無形固定資産		
のれん	6,580	7,075
その他	2,880	4,206
無形固定資産合計	<u>9,461</u>	<u>11,281</u>
投資その他の資産		
敷金及び保証金	35,335	35,550
その他	14,918	14,906
貸倒引当金	△482	△574
投資その他の資産合計	<u>49,771</u>	<u>49,882</u>
固定資産合計	<u>121,924</u>	<u>126,947</u>
資産合計	<u>214,404</u>	<u>227,921</u>

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,062	62,090
短期借入金	500	300
1年内償還予定の新株予約権付社債	—	15,000
1年内返済予定の長期借入金	372	244
未払法人税等	3,821	2,097
賞与引当金	2,747	1,484
ポイント引当金	1,559	2,479
資産除去債務	24	15
その他	9,072	10,533
流動負債合計	<u>72,159</u>	<u>94,246</u>
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	15,000	—
長期借入金	380	134
退職給付引当金	929	1,101
資産除去債務	3,454	3,729
その他	6,759	6,764
固定負債合計	<u>26,523</u>	<u>11,729</u>
負債合計	<u>98,683</u>	<u>105,975</u>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	21,086	21,086
資本剰余金	21,866	21,866
利益剰余金	<u>88,334</u>	<u>94,688</u>
自己株式	<u>△16,757</u>	<u>△16,758</u>
株主資本合計	<u>114,528</u>	<u>120,882</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	<u>△467</u>	<u>△219</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>△467</u>	<u>△219</u>
新株予約権	14	23
少数株主持分	1,645	1,259
純資産合計	<u>115,721</u>	<u>121,946</u>
負債純資産合計	<u>214,404</u>	<u>227,921</u>



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	326,511	345,350
売上原価	235,166	248,307
売上総利益	91,344	97,043
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	562	911
給料及び手当	29,035	31,110
賞与引当金繰入額	1,436	1,506
退職給付費用	582	609
地代家賃	17,244	18,448
その他	29,193	29,980
販売費及び一般管理費合計	78,055	82,566
営業利益	13,288	14,476
営業外収益		
受取利息	154	139
受取配当金	230	245
固定資産受贈益	268	447
発注処理手数料	373	389
その他	334	508
営業外収益合計	1,361	1,731
営業外費用		
支払利息	59	53
貸倒引当金繰入額	—	49
持分法による投資損失	17	10
その他	34	24
営業外費用合計	111	138
経常利益	14,538	16,069

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）
特別利益		
固定資産売却益	22	20
その他	0	—
特別利益合計	22	20
特別損失		
固定資産売却損	1	53
固定資産除却損	147	199
店舗閉鎖損失	182	246
減損損失	749	680
投資有価証券評価損	137	262
その他	16	11
特別損失合計	1,236	1,453
税金等調整前四半期純利益	13,324	14,636
法人税、住民税及び事業税	5,369	5,349
法人税等調整額	807	509
法人税等合計	6,177	5,858
少数株主損益調整前四半期純利益	7,147	8,777
少数株主利益	149	101
四半期純利益	6,998	8,676

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	7,147	8,777
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	260	248
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	260	248
四半期包括利益	7,408	9,026
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,243	8,925
少数株主に係る四半期包括利益	165	101

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

① 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

イ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	196,000	111,913	418	15,848	2,330	326,511	—	326,511
セグメント間の 内部売上高又は振替高	23	0	217,398	39,199	8,061	264,682	△264,682	—
計	196,024	111,913	217,816	55,047	10,391	591,194	△264,682	326,511
セグメント利益	9,548	2,936	569	109	479	13,643	△354	13,288

(注) 1. セグメント利益の調整額△354百万円には、のれんの償却額△572百万円及びセグメント間取引消去217百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

ロ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額749百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で584百万円、「その他小売事業」で190百万円となり、連結決算における消去・調整で△26百万円となっております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

② 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

イ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	194,189	135,059	176	13,873	2,050	345,350	—	345,350
セグメント間の 内部売上高又は振替高	36	96	227,514	41,871	7,694	277,214	△277,214	—
計	194,226	135,156	227,691	55,745	9,745	622,565	△277,214	345,350
セグメント利益	9,643	3,797	852	387	202	14,882	△405	14,476

(注) 1. セグメント利益の調整額△405百万円には、のれんの償却額△711百万円及びセグメント間取引消去305百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

ロ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額680百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で330百万円、「その他小売事業」で364百万円、「管理サポート事業」で1百万円となり、連結決算における消去・調整で△16百万円となっております。

(のれんの金額の重要な変動)

株式取得により株式会社ダルマ薬局及びモリスリテール株式会社を連結したことや株式会社ばばすの株式を追加取得したこと等に伴い、新たにのれんが1,209百万円増加しております。

報告セグメントごとの増加額は、「調整額」で1,209百万円となっております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

売上及び仕入の状況

① 事業部門別売上状況

当第3四半期連結累計期間の売上実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
小売事業	329,249	106.9
卸売事業	14,050	86.4
管理サポート事業	2,050	88.0
合計	345,350	105.8

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

② 商品別売上状況

当第3四半期連結累計期間の売上実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
小売事業		
医薬品	99,528	106.5
化粧品	124,610	109.1
雑貨	66,422	102.0
食品	38,448	109.9
小計	329,010	106.9
卸売事業	13,721	86.1
合計	342,732	105.9

- (注) 1. 商品別売上状況は管理サポート事業を除いております。また、上記の金額には営業収入（テナントからの受取家賃及びフランチャイジーからのロイヤルティ収入等）は含まれておりません。  
2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

③ 商品別仕入状況

当第3四半期連結累計期間の仕入実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	
	金額（百万円）	前年同四半期比（%）
小売事業		
医薬品	63,596	107.8
化粧品	88,674	107.6
雑貨	49,974	99.7
食品	33,889	108.0
小計	236,135	105.9
卸売事業	13,740	92.6
合計	249,876	105.1

- (注) 1. 商品別仕入状況は管理サポート事業を除いております。  
2. 仕入に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。